



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法枠を
つくりました

地元の声

・がけ崩れによる被害が不安なため、対策をしてほしい。（地元住民）

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがありました。



保全対象
要配慮者利用施設

事業前の状況



事業後

◆法枠の整備により、斜面の風化を防ぎ、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

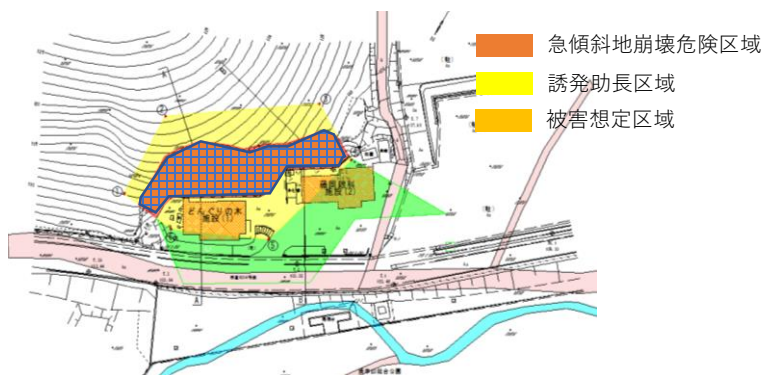
事業の概要

- 事業箇所：藤岡市藤岡
- 事業内容：法枠工
- 事業期間：令和元年度～令和4年度

※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況（令和4年度完了）



今、何をしているか

令和4年度に法枠工を実施し、事業完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了